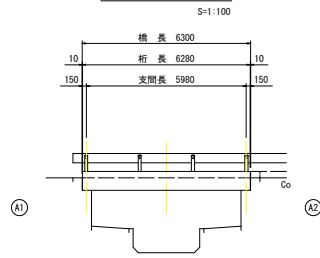
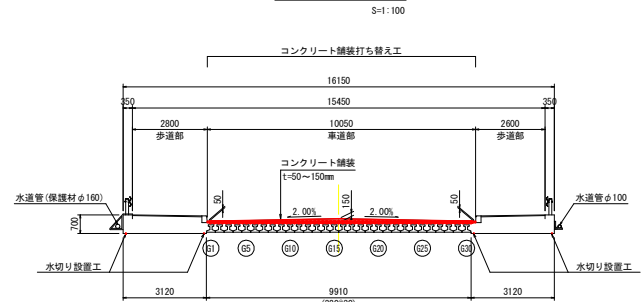


片塩橋 修繕工一般図

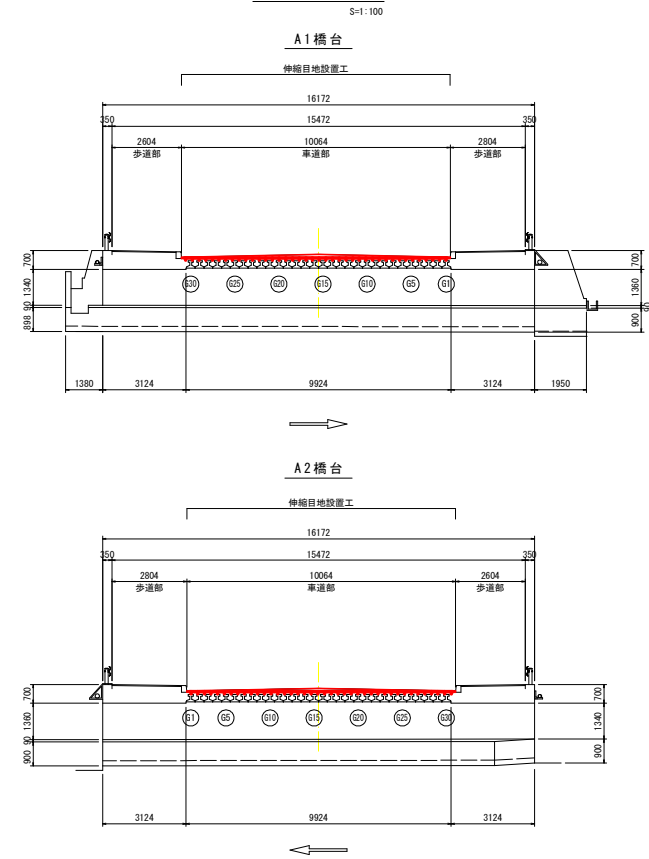
側面図



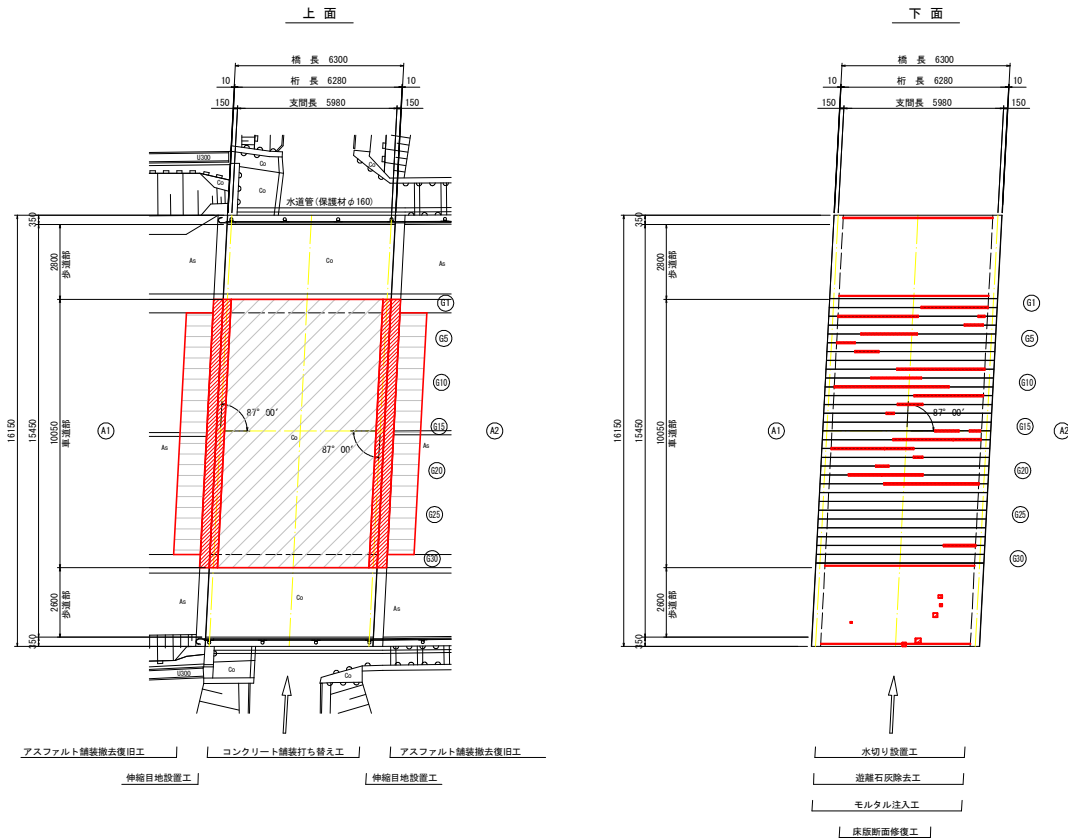
断面図



正面図



平面図



設計条件

橋 種	-
上部工形式	車道部 単純円床版・歩道部 単純円床版
橋 長	6.300m
桁 長	6.280m
支 間 長	5.980m
全 幅 員	16.150m
有効幅員	車道部 10.050m
	歩道部(上) 2.600m (下) 2.800m
斜 角	$\theta=87^{\circ}00'$
床 版	車道部 円床版・歩道部 単純コンクリート床版
舗 装	車道部・歩道部 コンクリート舗装
支 承	エラストライツ
橋 台	重力式
橋 脚	-
工 基 礎	-

工事名	片塩橋 維持修繕工事
図面名	修繕工一般図
年月日	
尺 度	図 示 図面番号 5 頁之内 1
会社名	
事務所名	五 城 町

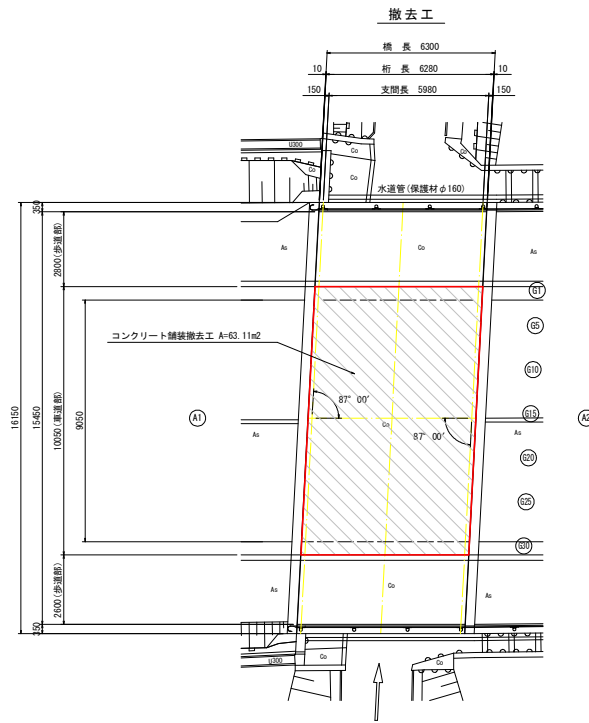
注記 1) : 各種修繕においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修繕においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

修繕工詳細図(1)

コンクリート舗装打ち替え工

平面図

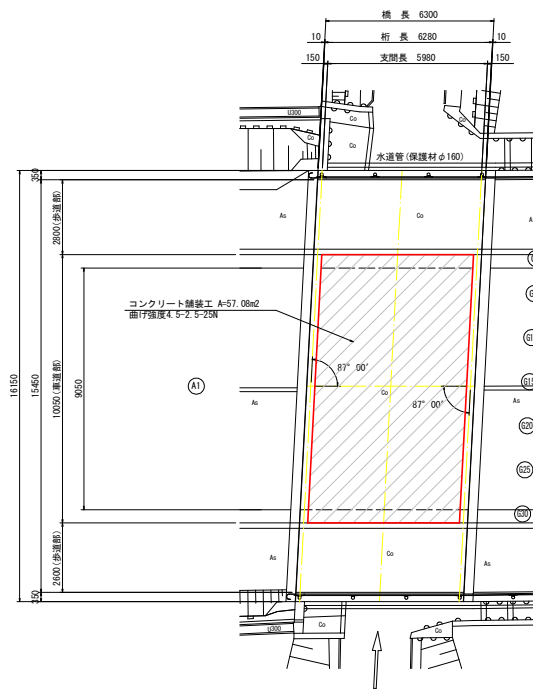
S=1:100



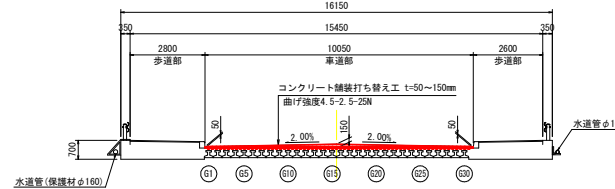
断面図

S=1:100

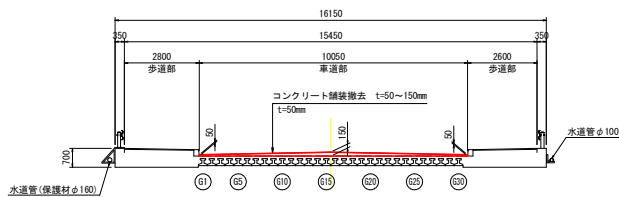
コンクリート舗装工



コンクリート舗装工

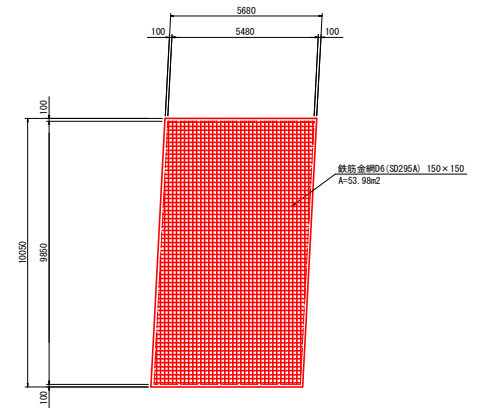


撤去工



鉄筋金網設置工

S=1:100



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

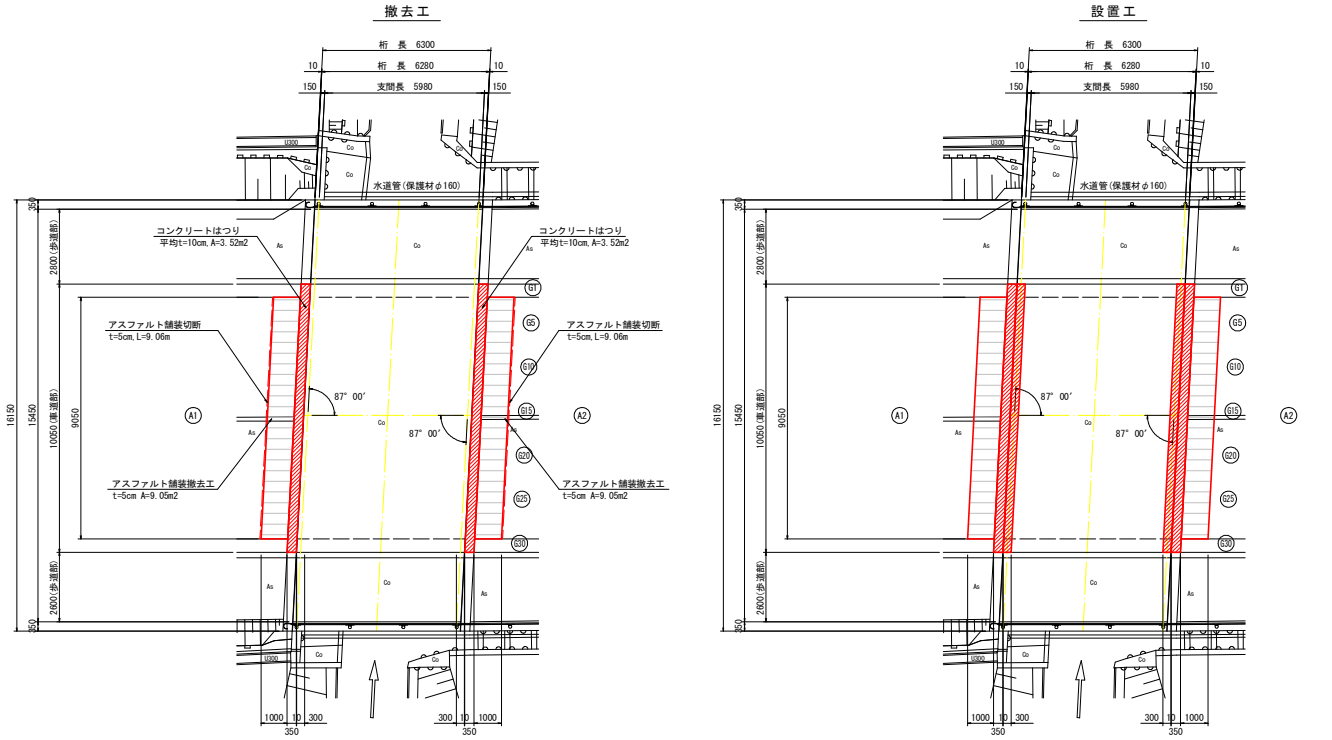
工事名	片塩橋 維持修繕工事		
図面名	修繕工詳細図(1)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	5 裏之内 2
会社名			
事務所名	玉城町		

修繕工詳細図(2)

伸縮目地設置工

平面図

S=1:100



アスファルト舗装設置工 A=9.05m²
 (再)密粒度As (13) t=50mm
 不陸整正 (M-30 t=30mm)

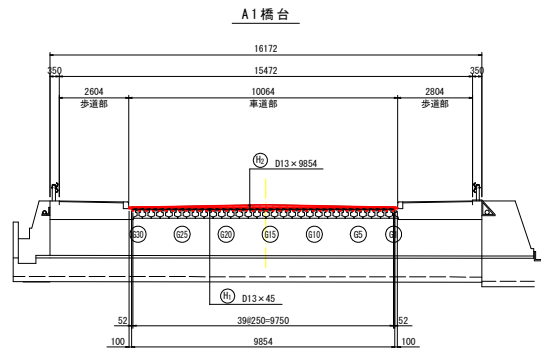
伸縮目地設置工
 L=10.06m

アスファルト舗装設置工 A=9.05m²
 (再)密粒度As (13) t=50mm
 不陸整正 (M-30 t=30mm)

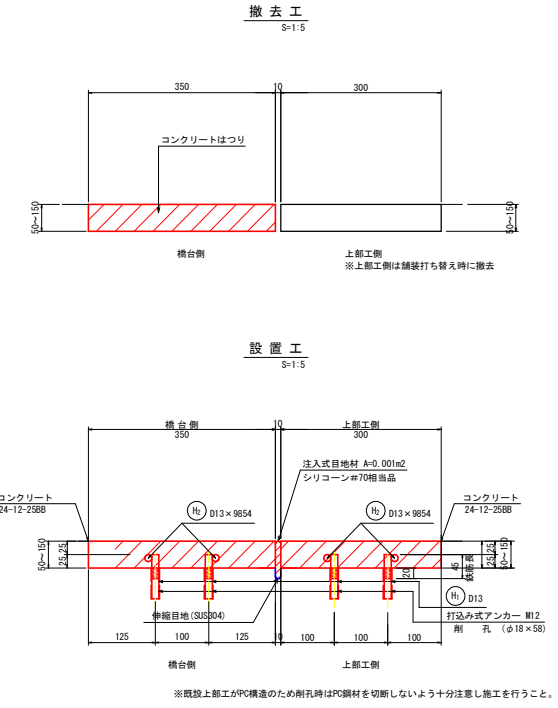
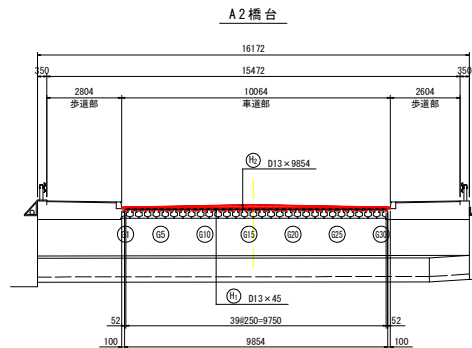
伸縮目地設置工
 L=10.06m

正面図

S=1:100

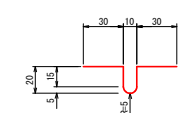


※既設上部工がPC構造のため削孔時はPC鋼材を切断しないよう十分注意施工を行うこと。



伸縮目地詳細図

S=1:2



PL 105.7 × 0.8 × 10064 (SUS) : A1橋台
 PL 105.7 × 0.8 × 10064 (SUS) : A2橋台

工事名	片塩橋 維持修繕工事		
図面名	修繕工詳細図(2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	5 頁之内 3
会社名			
事務所名	玉城町		

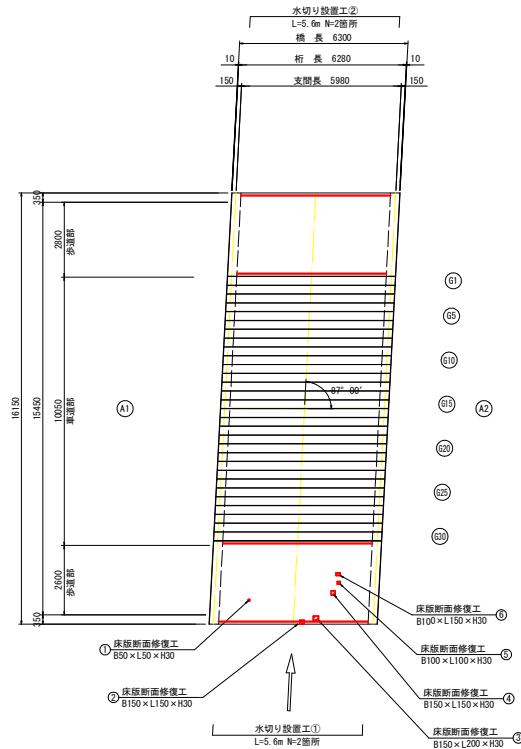
注記 1) : 各種修繕においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
 2) : 各種修繕においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
 3) : 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないようにすること。

修繕工詳細図(3)

平面図

S=1:100

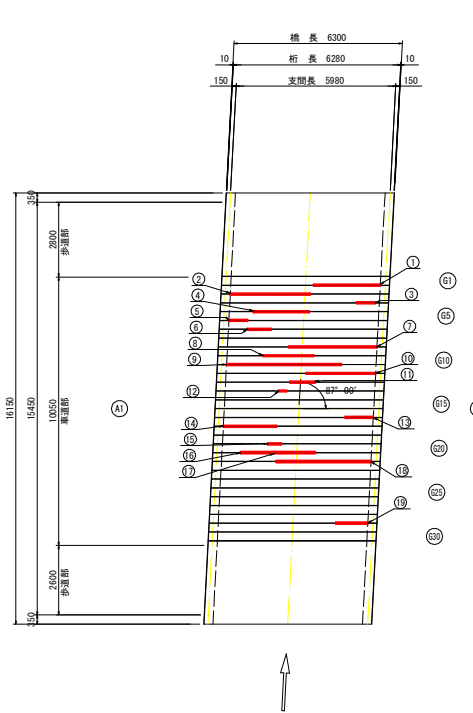
下面



遊離石灰除去工

S=1:100

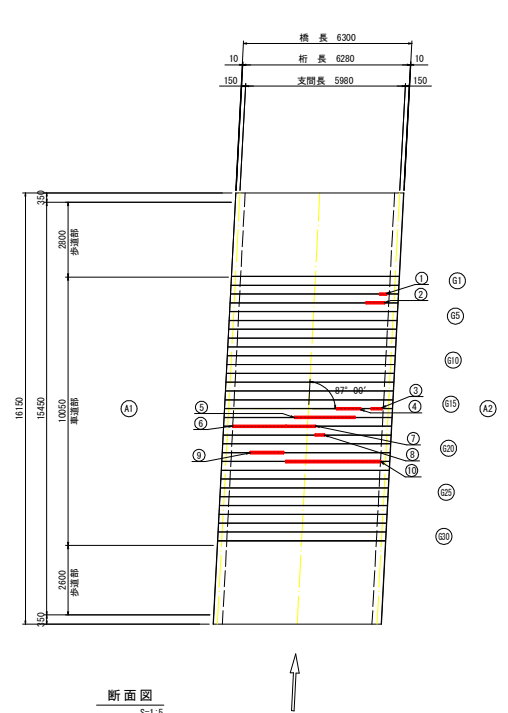
下面



モルタル注入工

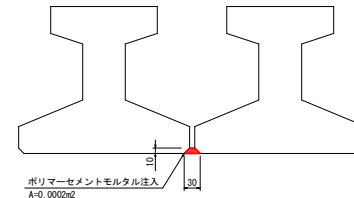
S=1:100

下面



断面図

S=1:5



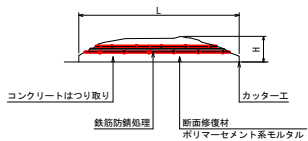
モルタル注入工形状寸法

番号	対象箇所	L (mm)
1	G2-G3	250
2	G3-G4	700
3	G15-G16	400
4	G15-G16	900
5	G16-G17	2250
6	G17-G18	2000
7	G17-G18	1100
8	G18-G19	350
9	G20-G21	1250
10	G21-G22	3500

遊離石灰除去工形状寸法

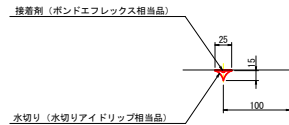
番号	対象箇所	L (mm)	番号	対象箇所	L (mm)
1	G1-G2	2500	11	G12-G13	950
2	G2-G3	3000	12	G13-G14	300
3	G3-G4	700	13	G15-G16	1050
4	G4-G5	2100	14	G17-G18	2000
5	G5-G6	700	15	G19-G20	500
6	G6-G7	900	16	G20-G21	1250
7	G8-G9	3300	17	G21-G22	1550
8	G9-G10	1900	18	G21-G22	3550
9	G10-G11	4300	19	G22-G23	1200
10	G11-G12	2600			

断面修復工詳細図



水切り設置工詳細図

S=1:4



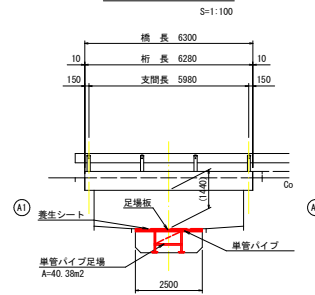
- ※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
- なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
- カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
- 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

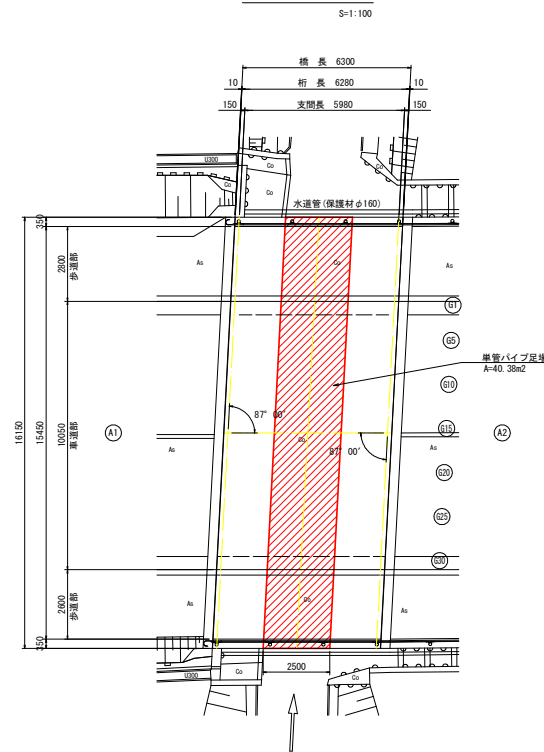
工事名	片塩橋 維持修繕工事
図面名	修繕工詳細図(3)
年月日	
尺度	図示 図面番号 5 頁之内 4
会社名	
事務所名	玉城町

仮設足場工 参考図

側面図



平面図



工事名	片塩橋 維持修繕工事			
図面名	仮設足場工 参考図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	5 頁之内 5	
会社名				
事務所名	五城町			

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。